

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
地方	札幌市奨学生	9000円	・札幌市民であること(志願者の親またはこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む) ・学業が優秀で性行が善良であるもの	札幌市特別奨学金との併給は不可	全学年	無
民間	公益財団法人大林財団	月額50,000円 原則として平成29年4月から3年間	・平成29年4月1日現在において大学2年生であり、22歳以下である者 ・就業経験のない者(アルバイト除く) ・都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする者(学部・専攻は問いません) ・人物、学業、健康ともに優れている者 ・経済的な理由で就学が困難な者 ・本人の属する世帯税込年収の合計が800万円未満とする ・奨学生交流会等、当財団の行事に出席出来る物	貸与・給付ともに併給不可 (日本学生支援機構、東京理科大学独自の奨学金は併給可)	学部2年	有
民間	一般財団法人 佐々木泰樹育英会	年額1,000,000円(月割)	日本国籍を有し、日本国内の大学院において建築を専攻する大学院生であつて次の各号の全てに該当する者 ・学業が優れ、品行が正しい者 ・建築学及び建築文化の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・将来、一級建築士として独立し、自ら建築士事務所の開業を志している者(組織設計事務所、建設会社、不動産開発業者等への勤務を希望する者を除く) 詳細は下記HPを確認のこと http://sasakitaijuikueikai.or.jp/		大学院生(建築)	無
民間	公益財団法人 吉田育英会 <ドクター21>	月額200,000円 及び奨学期間内に合計250万円以内の学校納付金を支給	・日本国籍を有する方 ・2017年4.1現在において、30歳未満である方。 ・2017年4.1現在において、大学院修士課程(博士前期課程を含む。)または一貫性博士課程の2年次に在学中の方。 ・2017年秋季または2018年春季に日本の大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫性博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する方 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する方。 ・当会の奨学期間中に他の給与奨学金との併給は認めない。また、国等が実施している研究員制度においては、ドクター21を含む他の奨学金の受給が認められない場合がある。 ・進学先大学院は、在学中の大学と異なっても構わない。また、国公立、私立の別を問わない。 ・家計基準はありません。	併給不可	修士2年	有
民間	公益財団法人 吉田育英会 <マスター21>	月額80,000円 または学校納付金として、奨学期間内に合計250万円の実費(どちらかを採用時に選択可能)	・日本国籍を有する方 ・2017年4月1日現在において27歳未満である方 ・2017年4月1日現在において、当会の指定する大学(推薦依頼校)の学部4年次に在学中の方。 ・2017年秋季または2018年春季に日本の大学院修士課程(標準修了年限が2年で、修了者に修士の学位が授与される課程。博士前期課程を含む。)または一貫性博士課程に入学を希望する方。 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する方。 ・進学先大学院は在学中の大学と異なっても構いません。また、国公立、私立の別を問いません ・当会の奨学期間中に他の給与奨学金との併用は認めません。 ・家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はありません。	併給不可	学部4年	有
民間	公益財団法人 旭硝子奨学財団	修士40,000円 博士100,000円	・2017年4月現在、修士(博士前期課程)第1学年の日本人学生及び博士(博士後期課程)第1学年の日本人学生。 ・品行方正、学業優秀、健康と認められ、真に奨学金を必要とする者。 ・博士に関しては、企業及び他財団(除く、日本学生支援機構)等から奨学金を受けていない者。 ・社会人学生は原則応募いただけません ・化学系・機械又は電気を専攻するもの	併給不可 (日本学生支援機構の奨学金は併給可)	修士1年 博士1年	有
民間	公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金	30,000円	・理工系専攻で2017年4月現在、修士課程の1年次に在籍する学生 ・学業、人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者 ・2017年4月以降ほかの奨学金を受給していない、または受給する予定のない者(貸与型奨学金の併用は可) ・原則、2017年4月より2019年3月分までの2年間を給付期間とする	併給不可 (貸与型奨学金は可)	修士1年 (理工系専攻)	有
民間	公益財団法人 フジシルパッケージング教育振興財団	学部50,000円 修士60,000円	・応用化学(プラスチック製品)、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系及びデザイン関係の学部・研究科に学ぶ学生 ・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの ・パッケージングに興味・関心のあるもの ・チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつもの ※奨学生は5月に成績証明書・在学証明書および生活状況報告書を理事長宛に報告すること ※年に1~2階、財団主催の研究会に出席するとともに、財団から書類等の提出を求められた場合遅滞なく提出すること	併給不可 (日本学生支援機構は可)	学部3年 修士1年	有
民間	公益財団法人 鹿島育英会	年間600,000円	・学部の3年生又は修士課程1年生 ・人物学力ともに優れた前途有為な人材でありながら経済的理由により支援が必要と認められる者 ・親(父親及び母親)の年収合計は1000万円以下であること。 ・建築系を専攻する学生。 ・東日本大震災の被災地(岩手県、宮城県、福島県)出身者優先 ※すでに過去2年間当財団奨学生は不可 ※原則として同一人に2年間給付	併給可	学部3年 修士1年	有

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	公益財団法人 東洋合成記念財団	年間400,000円	・財団が指定する大学の理工学を学ぶ大学院生(修士・博士課程、進学・進級予定者を含む)で学業優秀、品行方正な日本国籍を有する学生で研究科長等から推薦されたもの ・他の給付奨学金との併用は出来ません。	他の給付奨学金との併用は不可	理工学研究科 先端化学専攻 (工業化学専攻)	有
民間	公益財団法人 河内奨学財団	月額40,000円	・薬学部に進学する大学生 ・学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な者	他の奨学金との併給不可 (日本学生支援機構、東京理科大学独自の奨学金は併給可)	薬学部	無
民間	公益財団法人 花王芸術・科学財団 (佐啓奨学金)	月額50,000円 (年2回に分けて)	以下すべての条件を満たす者 ・日本人学生で、2017年4月に大学院(修士課程)1年に進学することが決定している、下記研究を行う満30歳以下の学生 【科学・物理学分野】 表面分析、表面改質、コロイド、(超)微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係る研究 ・健康・学業成績・人物ともに優れている・高い自己の成長意欲を有するもの ・学資の支弁が困難と認められるもの ・世帯収入合計800万円(税込)未満または事業所得360万円未満の家庭。但し、本人が独立生計の場合は、本人および配偶者の総収入金額とする	他の給付奨学金との併給は不可	大学院生 修士課程 1年	有
民間	公益財団法人 クマ財団	月額100,000円	・次の各号のいずれにも該当する者 (1)2017年4月1日に大学・大学院に在籍する学生 (2)2017年4月1日現在で25歳以下の者 (3)クリエイター(オリジナルの映画・ゲームの制作者、作曲家、画家、作家、漫画家、映像作家、デジタルコンテンツやサービス等の作り手)を目指している方 (4)ものづくりに対して情熱がある者	他の給付奨学金との併給は不可	全学年	無
民間	公益財団法人 エフテック奨学財団	月額30,000円	・将来社会に貢献できる有用な活動を目指す者 ・奨学金を自身の将来の成長のために有効に活用できる者 ・学業・人物共に優秀な者 ・年1回の奨学生交流会(8月上旬予定)に必ず出席出来る者 【年齢要件】 ・出願する年の4月1日現在、大学2年以上に在籍し、22歳以下の者 ・出願する年の4月1日現在、大学院修士課程1年次に在籍し、25歳以下の者 ・出願する年の4月1日現在、専門職学位課程1年次に在籍し、25歳以下の者 ・出願する年の4月1日現在、大学院博士課程1年次に在籍し、28歳以下の者	他の給付奨学金との併給可 ※ただし、奨学金の給付額の合計額が一般の常識の範囲を超えていた場合は資格なしとする(授業料を基準とする)	学部 (2年以上) 大学院 (修士1年) (博士1年) 専門職 (1年)	有
民間	公益財団法人 朝鮮奨学会	学部 25,000円 修士課程・専門職課程 40,000円 博士課程 70,000円	・学部および大学院の正規課程(通信課程は除く)に在籍している韓国・朝鮮人学生 ・成績が優良で学費の支弁が困難な者 ・2017年4月1日現在、満30歳未満(学部生)の者 ・2017年4月1日現在、満40歳未満(大学院生)の者 ・他の奨学金を受給していない者。ただし、貸与奨学金、本会奨学金と同額未満の奨学金、学内奨学金は受給していても応募可能。	併給不可 (貸与型や学内奨学金は受給していても可)	全学年	無
民間	公益財団法人 戸部真紀財団	50,000円	・学部学生(3年・4年生)、修士課程・博士課程の者(専門職学位課程は対象外) ・年齢が平成29年4月1日現在で30歳以下の者 ・化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学の分野で修学している者 ・向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 ・学資の支弁が困難と認められる者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ※休学期間中は奨学金の給付を休止します ※分野は、在籍する学部・学科・研究科に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしている方であれば、どなたでも応募できます ※家計による応募制限はしていませんが、選考過程で審査の対象になります ※給付期間は平成29年4月1日より平成30年3月31日までの1年間 (給付期間終了後、当該年度実績等を審査し、1年間に限り継続を認める場合があります)	併給可 (但し、他の給付型の奨学金と併給の場合は、給付額が半額となる場合があります)	全学年	無
民間	一般財団法人 鷹野学術振興財団	年間600,000円	以下のすべてを満たす者 ・科学技術関係を専攻している学生 【科学技術関係の範囲】 電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等 ・平成29年4月1日現在、大学の1~3年に在籍(6年制学部の場合は1~5年)若しくは大学院修士課程の1年次に在籍 ・卒業後は製造業への就職を希望している ・過去に当財団の奨学生に採用されたことが無い ・給付期間は1年間(平成29年8月1日~平成30年7月30日)	他の財団・民間奨学金などの奨学金との併給は認められない。 (ただし、日本学生支援機構の奨学金並びに大学が独自に設定している奨学金との併給は可)	学部1~3年(6年制の場合は1~5年) 修士1年	無
民間	公益財団法人 似鳥国際奨学財団	【自宅生】 50,000円 【自宅外生】 80,000円	・日本国籍を有する者 ・2017年4月1日より学部課程の1・2・3・4年に正規生として在籍する者 ・学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ※修士・博士は応募対象外とする	併給不可 (貸与型奨学金は可)	学部生	無

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	一般財団法人 野崎わかば会	30,000円	・成績優秀かつ人物に優れ、経済的に学業の継続が困難と認められるもので、かつ法人の目的(情報化社会のさらなる発展に向けた人材の育成および教育環境の充実)に合致する者 ・理工学部情報科学科3年生 もしくは 理学部第一部応用数学科(数理情報科学科)3年生であること ・平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間 ※本年7月に採用者を対象とした授与式を行う予定	併給可	対象学科 3年のみ	有
民間	公益財団法人 佐藤奨学会	学部 25,000円 大学院 30,500円	・学業・人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者。	併給可	全学年	有
民間	公益財団法人 茂木本家教育基金	30,000円	・平成29年4月に大学に入学した者 ・理、工、薬、理工、基礎工学部在籍の者 ・学業優秀(5段階評価で平均4以上)であり、品行方正である者 ・学費の支弁が困難と認められる者で、原則として、他の奨学金を受給しない者 ※支給期間は学校学部在籍期間とする ※原則として、年2回研修会を開催し、出席を求めます	原則併給不可	学部 1年	有
民間	公益財団法人 平山教育財団	10,000円	・平成29年度入学者(学部学生に限る) ・東京都に居住する東京都民であること ・東京都に所在する大学に在学中であること(学部は不問) ・学業、品性に優れ、健康であること ・経済的な理由で修学が困難な者 ※支給期間は正規の最短修業期間 ※奨学生は毎年年度末に学業成績表及び生活状況報告書を提出し、財団の生活指導研修会に出席すること	併給可	学部 1年	有
民間	公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団	学部 35,000円 大学院 55,000円	・薬学部以外の全学部・全学科の2年生 ・財団主催行事への出席を優先できる者 ・健康で学業成績、人物ともに優れている者 ・原則として満23歳以下 ・将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 ・父母の税込年収合計800万円未満であること。(ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合は税込年収1千万円未満を目処とする) ・採用後、三菱UFJ信託銀行(本店扱)に自身で普通預金口座を開設できる者	併給可	学部 2年(薬学部以外の学生) 大学院 全学年 (薬学研究科以外の学生)	有
民間	公益信託 池田育英会トラスト	17,000円	・愛媛県内の高等学校を卒業している方、または保護者が愛媛県内に居住している方 ・学業、人物ともに優秀で経済的支援の必要な方 ・給付期間は正規の最短就学期間とする	併給可	学部2年 以上 大学院生	無
民間	公益信託 TAKEUCHI育英奨学会	60,000円	・機械工学・電気工学・制御工学等の理工系の学生で、長野県出身者であること ・品行方正・志操堅固、健康で学業成績が優秀であること ・学資が豊かでないこと ・4月現在において次の学年に在籍する者 大学院1年生/大学2年または3年生	併給可	学部2年 学部3年 大学院1年(修士前期)	無
民間	一般財団法人 ダイオース記念財団	10,000円	・将来の夢を実現させる為に挑戦する意欲を持った学生、もしくは様々な能力を伸ばそうという意欲のある学生であり、この法人が主催する年2回の報告会に出席できること ・出願する年度の4月現在、大学(2年～)、大学院修士課程・博士課程に在籍するもの ・2017年4月2日時点で、原則として大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。 ・原則前年度までの成績(GPA)が3.00以上の者 ・目安となる家計基準の上限は、給与所得世帯の場合は世帯合計所得600万円未満、給与所得以外の世帯の場合は、自営業などその他所得340万円未満とする ・在学する学長、研究科、指導教官等の推薦する者 ・学費の支弁が困難と認められる者 ・心身ともに優れている者	併給可	学部2年 以上 大学院生 全学年	無
民間	一般財団法人 守谷育英会	100,000円	・東京都内の大学、大学院に在学、または東京都内に居住し、大学、大学院に在学している者。 ・学業、人物ともに優秀で学資の支弁が困難な者 ・支給期間は卒業(修了)までの最短就業期間とする	併給可	全学年	無

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	公益財団法人 アイザワ記念育英財団	学部 30,000円 修士 45,000円	・人物、学業ともに優れているもの ・経済的理由により修学が困難であると認められるもの ・将来、産業・文化両面において社会に貢献しようとするもの ・他の団体等より奨学金を受けていないもの ※支給期間は正規の最短修業年限の最終期迄。ただし2年間を限度とする ※年に数回のレポート提出や研修会・懇親会などの出席を義務とする	併給不可 (日本学生支援機構及び大学の授業料減免等に対する自立支援資金については可)	学部3年以上 大学院生 全学年	有
民間	公益財団法人 日揮・実吉奨学会	年額300,000円	・理工系学科所属または専攻の日本人大学生・大学院生(薬学部も含む) ・人物・学業ともに優れ、かつ健康であること ・原則として年齢30歳未満 ・他の給与奨学金との併給は可とする(授業料免除との重複も可) ・日本学術振興会特別研究員採用者でないこと ・過去に受給した方は応募出来ません	併給可	全学年	有
民間	公益財団法人 国土育英会	18,000円	・学術、人物ものに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められるもの ・平成29年4月時点で正規性として大学・大学院に在学する日本入学生を対象、所属学部・学科は不問 ・東京都内での面接が可能なものとする。(6月上旬を予定) ・毎年度年度末に、成績証明書・在学証明書または卒業証明書を提出すること ・財団が開催する交流会等へ参加できるもの	併給可	全学年	有
民間	公益信託 岩井久雄記念東京奨学育英基金	学部 100,000円 大学院 120,000円	・大学及び大学院の理工学分野で学ぶ、日本国籍を有する学生 一在籍学部・・・理学、工学系統(理学部、工学部、理工学部等) 国際科学オリンピック金メダル獲得者については別枠にて推薦あり(その場合は1年次より応募可) ・将来は日本の指導者の一人として国の発展のために尽くそうと志の持つもの ・学業・人物ともに優秀でありかつ健康であるもの ・学費の支払いが容易でないもの ・在籍大学の推薦を受けることができること	併給不可 (貸与されるものを除く)	学部3年 修士1年 博士1年	有
民間	公益信託 日新製糖奨学育英基金	30,000円	・東京都内に居住するもの ・理、工学系統、農、水産、畜産学系統、医、薬学系統を専攻するもの ・学部3年生、4年生であるもの ・学業・人物ともに優秀かつ健康な学生であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められるもの	併給不可 (貸与型については受給していても可)	学部3年 学部4年	有
民間	公益財団法人 中部奨学会	学部 35,000円 大学院 60,000円	・人物・学業ともに特に優れ、健康であること ・経済的理由により著しく就学困難なもの	併給可	全学年	無
民間	一般財団法人 日本教育文化財団	20,000円	・日本国籍を有すること ・国内の大学に進学した新一年生であること ・募集年度4月1日現在で年齢25歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・学業優秀且つ品行方正であること ・就学状況及び生活状況について適正に報告できること ※正規の最短就業年月の終期まで給付	併給可	学部1年	無
民間	公益財団法人 前澤育英財団	35,000円	・学業、人物ともに優秀かつ健康であり、学費の支弁が困難なもの ・東京都民の子弟又は東京都内に居住している方。 ・本年度の新入生(学部・学科は問わない) ・「時間を守る」「人との約束を守る」「書類を良く読む」など基本的なマナーを有するもの ※正規の最短就業年月の終期まで給付	併給不可 (貸与されるものを除く)	学部1年	有
民間	公益財団法人 小田急財団 安藤記念奨学金	20,000円	・平成29年4月現在、第1学年に在学していること ・学業優秀、品行方正であること ・家族の年間収入合計が750万円以下であること	併給可	学部1年	有
民間	公益財団法人 川村育英会	学部 30,000円 大学院 60,000円	・経済的理由により、修学が困難な者 ・2017年度大学の学部2年次に在学するか、大学院修士課程1年次に在学していること ・有機化学、有機合成、高分子化学、高分子合成、無機化学、光化学、触媒化学、計算化学、液晶、界面化学、物理化学、生物化学、材料化学、分析化学、画像化学、化学工学などの化学系、および、機械工学、電気電子工学、制御工学を専攻していること ・生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が500万円以下 ・成績証明書記載の学業成績に占める、A・優以上の最優等成績の割合が50%以上	併給可	学部2年 修士1年	有

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	公益財団法人 春秋育英会	30,000円 (2万円給付、1万円貸与) ※給付・貸与の混合	・心身健全、学力優秀であり、かつ経済的理由により修学困難であると認められたもの ・原則として修了時の年齢は26歳を超えないものとする。 ・日本在住の所定の保証人が得られるもの。 ・原則保護者の年収が1千万以下である者。	併給可	学部 全学年	有
民間	公益財団法人 ツツミ奨学財団	45,000円	・埼玉県内の大学に在学する学生又は埼玉県内の高等学校を卒業し県外の大学に在学する学生であること ・日本国籍を有する者 ・学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由により、修学が困難と認められる学生	併給可	学部 1年	無
民間	公益財団法人 埼玉学生誘掖会	年額250,000円	・学業・心身とも優良であり、かつ、学資の支弁が困難と認められるもの ・在学大学の推薦を受けたもの(この場合でも、出身高校長の推薦を要とする) ・埼玉県内高等学校長の推薦を受けたもの(この場合でも、在学大学の推薦を受けることが条件となる) ・埼玉県出身者の子弟(学費を支弁する父兄の本籍または居所が埼玉県内にあるか、若しくは過去埼玉県内に本籍または居所があった者) ・平成29年度の新入学生に限るものとし、2学年以上への編入者を除くものとする。	併給不可 (日本学生支援機構または大学独自の奨学金との併給は可)	学部 1年 ※2学年以上への編入者を除く	有
民間	公益財団法人 中村積善会 ※給付のみ	30,000円	・大学、大学院に在学する者。 ・優秀な資質を有し、学資の支弁が困難なもの ・他の機関で貸費奨学資金を受けていないもの ・日本学生支援機構の第一種奨学生対象の収入基準に準じる ・学業成績が平均水準以上の者 ・次の者は資格がない ①勤務先から派遣されて在学する者 ②学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者 ③10月入学者	併給可	全学年	有
民間	公益財団法人 中村積善会 給付・貸与併用	80,000円 内 貸与 50,000円 内 給付 30,000円	・大学、大学院に在学する者。 ・優秀な資質を有し、学資の支弁が困難なもの ・他の機関で貸費奨学資金を受けていないもの ・日本学生支援機構の第二種奨学生対象の収入基準に準じる ・学業成績が平均水準以上の者	貸与型奨学金との併給不可 ※日本学生支援機構との併給も不可 ただし、給付型の奨学金との併給は可	全学年	有
民間	公益財団法人 川本・森奨学財団	学部 25,000円	・学業優秀、品行方正であること ・経済的理由により、学費の支弁が困難であること ・財団が主催する行事に出席できること(奨学生研修会11月～12月、2～3月の年2回予定) ・財団の面接に出席できること	併給可	学部 1～4年	有
民間	公益財団法人 小林育英会	25,000円	・大学学部生であること ・学部1年次生であること ・学業成績、人物ともに優秀な者であること ・心身ともに健全な者であること ・将来社会的に有為な活動を目指す者であること ・在学している大学の長の推薦を受けている者であること ・奨学金受取口座として本人名義の銀行口座を持っていること(ゆうちょはNG) ※給付期間は奨学生採用時より当該学部の最短修業年限とする		学部 1年	有
民間	公益財団法人 高村育英会	30,000円	・平成29年度4月に大学に入学し、学業、人物共に優秀でかつ健康であって、学費の支弁が困難と認められるもの ・学習活動その他生活全般を通じて、態度、行動が学生に相応しく将来良識ある社会人として活動できる見込みがあるもの 本人については勿論、家庭の事情などを総合的に見て途中で学業を放棄することがないと思われるもの ・下記条件のいずれかに該当し、家計維持者の平成28年度課税所得が300万円(給与と所得者の場合600万円程度)以下であること。 ①母子、父子世帯であること ②障がい者のいる世帯であること ③長期療養者(6ヶ月以上)がいる世帯であること ④火災、風水害、盗難等の著しい被害を受けた世帯であること ⑤生活保護法による被保護世帯であること ⑥上記と同等の事由により修学が困難な世帯であること	併給不可 ただし、貸与型は併給可	学部 1年	有
民間	朝鮮人奨学生	学部1年生:10,000円 学部2年生以上:15,000円	・在日朝鮮人学生(朝鮮半島にルーツを持つ学生/本国からの留学生を除く。30歳未満) ・国籍不問	併給不可	全学年	無
民間	公益財団法人 野島財団	50,000円	・大学学部の2年生であること ・学業に対して熱意をもって取組、社会に対する貢献意欲の高い学生	併給不可	学部 2年	無

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	公益財団法人磯野育英奨学会	20,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として1年生に在学する日本国籍のもの ・心身健全で、将来とも修学に堪えるもの ・人物、学力とも優秀なもの ・家計の実情が、学資の支弁に困難であると認められるもの ・確実な身元保証人のあるもの ・奨学生として不適格な行為が見られたときは、在学学校長等学校関係者の意見を徴して奨学生採用の取り消し、奨学金交付の廃止をすることがある 	併給可	学部1年	有
民間	公益財団法人日本国際教育支援協会MHPSみらい奨学金	120,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月現在で、日本国内の大学の修士課程1年次に正規生として在籍する女子学生 ・機械・電気・電子・化学等の理工系分野を専攻するもの(薬学部は除く) ・将来、火力発電システム・環境分野におけるエンジニアとしてグローバルに活躍する意欲のあるもの ・本奨学金の受給期間中、他の奨学金を受けない者(貸与型奨学金、学費免除及び一時金は除く) ・修学の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待出来るもの ・経済的援助を必要とするもの ・在籍大学の長の推薦を受けることができるもの 	併給不可 ただし、貸与型は併給可	修士1年	有
民間	毎日育英会	440万～520万(4年間)	<p>詳しい内容についてはHP参照のこと。 http://foundation.nojima.co.jp</p>		—	無
民間	一般財団法人福岡育英会	年額300,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・品行方正で、学業に熱心であり、学資の支弁が困難であると認められるもの ・東京都に住所又は居所を有する理工系の学生であること。 <p>※給付期間は奨学生採用時より当該学部の最長修業年限とする</p>	併給可	全学年	有
民間	読売育英奨学会	400万～520万(4年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら勉学に努め情熱とひたむきさを有する人。 <p>その他、応募資格についてはHP参照のこと http://www.yomisho.com</p>		—	無
民間	フジタ奨学金	年額500,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年4月現在、学部3年生もしくは大学院(修士)1年生であるもの ・以下の学部(専攻)に在籍するもの 理工学部(専攻) 建築・電気電子情報工・機会工・土木工 工学部(専攻) 建築・電気工・機械工 ・平成29年6月3日(土)の午前中に都内で行われる面接に参加出来るもの 	併給可	【指定学部】 学部3年 修士1年	有
民間	一般財団法人野崎わかば会	30,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・成績優秀かつ人物に優れ、経済的に学業の継続が困難と認められるもので、かつ法人の目的(情報化社会のさらなる発展に向けた人材の育成および教育環境の充実)に合致する者 ・理工学部情報科学科 もしくは 理学部第一部応用数学科(数理情報科学科)に在籍する学生であること ・平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間 <p>※本年7月に採用者を対象とした授与式を行う予定</p>	併給可	対象学科 1年生～4年生	有
民間	公益財団法人昭和池田記念財団	150,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院の理科学系博士前期課程(修士課程)で、かつ所定の分野専攻の者(電気・電子・情報系、機械系、材料系、物理系、化学系) ・奨学金受領の修了に際し、研究テーマに付き、財団の設置する発表会で公開が可能なる者 ・現在、他の企業・財団等の奨学金を受領しておらず、また今後とも受領予定のない者(日本学生支援機構奨学金との併給は可) ・学業成績、人物共に優秀な者 ・心身共に健全な者 ・将来的に有為な活動を目指す者 ・昭和62年4月2日以降生れである者 	他の奨学金との併給不可 (日本学生支援機構との奨学金は併給可)	修士1年	有
民間	一般社団法人大学女性協会一般奨学生	200,000円(一括支給)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業共に優れた者。 ・過去に当協会の奨学金を支給された者は、再度応募することはできない。 ・在籍年数に休学期間は含まない。 	併給可	修士2年生以上	有
民間	一般社団法人大学女性協会社会福祉奨学生	学部 100,000円(一括支給) 大学院 200,000円(一括支給)	<ul style="list-style-type: none"> ・学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障がいがあり、かつ人物・学業ともに優れた者。 ・過去に当協会の奨学金を支給された者は、再度応募することはできない。 ・在籍年数に休学期間は含まない。 ・身体障がい者手帳の交付を受けていること。 	併給可	・学部 2年生以上 ・大学院 修士2年生以上	有
民間	一般社団法人安井医学奨学生	300,000円(一括支給)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学を専攻する大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業ともに優れた者。 ・過去に当協会の奨学金を支給された者は、再度応募することはできない。 ・在籍年数に休学期間は含まない。 	併給可	修士2年生以上	有

平成29年度奨学団体表(給付)

種別	奨学団体名	月額	申込資格	併給可否	対象学年	学内選考有無
民間	公益財団法人エフテック奨学財団	月額30,000円	<ul style="list-style-type: none"> 将来社会に貢献できる有用な活動を目指す者 奨学金を自身の将来の成長のために有効に活用できる者 学業・人物共に優秀な者 年1回の奨学生交流会(8月上旬予定)に必ず出席出来る者 給付期間は半年間(10月～3月)の給付となりますが、翌年も給付を希望される場合は一定の条件のもと継続できます <p>【年齢要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学2年以上に在籍し、出願するの3月末において22歳以下の者 大学院修士課程1年次に在籍し、出願するの3月末において25歳以下の者 専門職学位課程1年次に在籍し、出願するの3月末において25歳以下の者 大学院博士課程1年次に在籍し、出願するの3月末において28歳以下の者 	他の給付奨学金との併給可 ※ただし、奨学金の給付額の合計額が一般の常識の範囲を超えていた場合は資格なしとする(授業料を基準とする)	学部(2年以上) 大学院(修士1年)(博士1年) 専門職(1年)	有
民間	一般財団法人種とまと財団	学部 50,000円 大学院 80,000円	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍を有し、工学系、理学系、情報系に在籍する者。(医・歯学系、看護・保健・福祉系、薬学系、農学系・文系は対象外) 学部3年生あるいは4年生であり、進学が決定していること 注意:4年生については、東京理科大学の大学院への進学が決定している者。 経済的な理由により、学費の支弁が困難であること。 (応募者多数の場合、東日本大震災被災者等を優先することがある。) 学業優秀、健康、品行方正であること。 民間で支給している奨学金(給付・貸与)を受給していないこと。 ただし、日本学生支援機構の奨学金との併給は可能です。 財団が開催する報告会等に出席できる者 	他の奨学金との併給不可 (日本学生支援機構との奨学金は併給可)	学部3年 学部4年(4年生については、東京理科大学の大学院に進学が決定している者)	有
民間	公益財団法人山田長満奨学会	120,000円	<p>※交流を図る為、毎月指定の給付日(第2金曜日)に直接受取に来られる者であり、次の各号のすべてに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内に所在する大学、大学院修士課程・博士課程に在籍する者。 ※他学校への編入を予定し、2018年3月24日までに入学が決定する者又は4月から進級する見込みの者を含む。在籍中に海外留学する者(予定者)は除く。 1983年4月1日以降に生まれた者 優秀な学力と穏健な性格を持ち、心身に健全な者 兄弟姉妹、夫婦の関係にある者は、同時に奨学生になれない 給付期間は2018年4月から2019年3月の1年間とする かつて公益財団法人山田長満奨学金の支給を受けていた者は、応募資格がない。 	併給可	全学年	無
民間	公益財団法人似鳥国際奨学財団	【自宅生】 50,000円 【自宅外生】 80,000円	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍を有する者 2018年4月1日より学部課程の2・3・4・5・6年に在籍予定の日本人学生 学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 原則1年間支給(一部成績優秀者は更新の可能性あり) <p>※修士・博士は応募対象外 ※過去に応募したことがある場合も再応募が可能</p>	併給不可	学部生	無
民間	公益財団法人林レオロジー記念財団	学部 30,000円 大学院 50,000円	<p>食料品製造機械産業及び食料品産業に関わる学問を習得しようとする日本国内の学校に通う大学院生、大学生、専門学校生であって、次の各号のすべてに該当する者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 品行方正で学習意欲の高い者。 学業成績が一定水準以上の者 <p>※給付期間は平成30年4月1日より1年間または2年間(最短修業期間)</p>	併給可	学部2・3年 大学院進学予定の4年 修士1年	有
民間	公益財団法人北海道文化財団人づくり一本木基金	250,000円(年額)(限度額)	<p>奨学金の給付を受けることのできる者は、工芸美術及びものづくり等の分野において将来の活躍が期待される道内出身者を対象に、心身ともに健全で、学業に精励し就学の見込みはあるが、経済的理由などにより修学が困難な者。</p> <p>学部1年生は高校時代の成績で評定平均値が5段階中3以上の者 在学は前年度までの標準修得単位を修得済みであり、かつ前年度までの通算GPA値が2.8以上の者</p> <p>【事業の対象 工芸美術やものづくり等の分野について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内における地域の産業・社会を支える、ものづくりや技能 道内における文化芸術活動を支える、ものづくりや技能 消費社会に溢れるものとは異なる、ものづくりや技能 各業種を支える、ものづくりや技能 	併給可	全学年	無
民間	公益財団法人クマ財団	月額100,000円	<p>次の各号のいずれにも該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 2018年4月に、高専4年生以上及び専攻科、専門学校、短期大学、4年制大学、大学院(以下「大学」と記載)に在籍する学生 2018年4月1日現在で25歳以下の者 クリエイター(オリジナルの映画、ゲーム、作曲家、画家、作家、漫画家、映像作家、技術、デジタルコンテンツやサービス等の作り手)を目指し創作活動をしている者 ものづくりに対して情熱がある者 選考のため、自作の作品を提出可能な者 <p>原則として2018年4月1日から2019年3月31日までの1年間を給付期間とする</p>	併給可	全学年	無